

消 防 学 校 だ よ り

令和 3 年 5 月号

発行年月日 令和 3 年 5 月 28 日
発 行 宮 崎 県 消 防 学 校

新型コロナウイルス感染症の影響で、行事の中止等があり、校外での研修機会がありませんが、初任科生は、この状況に適応し、日々、訓練に取り組み精進しています。

初任科(救急)

消防は、人を救うため日々精進し災害に備えます。赴く先には助けを求める傷病者がおり、それらの人を適切に手当てし、安全な場所へ適切に搬送することは重要な任務です。徒手搬送法、簡易担架での搬送法、副木を使用した固定方法などを訓練しました。



初任科(機器取扱訓練)

消防力の3要素は、人員・機械器具・水利であり、消防活動を行うにあたって機械器具は重要なものである事を理解し、各種資機材の諸元、使用の方法を訓練しました。

チェーンソー取扱い



空気式救命索発射銃取扱い



削岩機取扱い



エンジンカッター取扱い



エアソー取扱い訓練



初任科(防火衣着装)

安全管理の第一歩は服装であり、常に完全な着装に心掛ける必要があります。特に火災現場に赴く際の防火衣は炎や熱から自らを守る重要なものです。正しく、迅速に着装出来るよう訓練を実施していきます。



初任科(消防活動訓練)

消火活動を行うには、消防用ホースを伸張り、結合部をしっかりと結合させ火点まで延長し消火活動を実施します。活動終了後には、次の現場に備え迅速にホースの撤収をしなければなりません。初めて触るホースの重みを感じながらホース伸張、撤収を繰り返し訓練しました。



初任科(消防ポンプ)

消防の世界に入りたいと、昨年までは、外から赤い消防車を見ていた初任科生も、今後は消防車に乗車して任務を遂行し、見られる側となります。自分が乗る消防車がどのような構造なのかを学びました。



初任科(効果測定)

機器取扱に関し、これまでの訓練の効果を確認するため効果測定を実施しました。

基本結索、器具結索、空気呼吸器点検要領、着装から資機材名称の確認等、実施した訓練の全ての項目において2班に分け、学生一人一人の修得度合いを確認しました。各学生、効果測定で得た情報をもとに、今後の訓練に影響がないように指導していきます。



6月の主な行事

6月12日(土) 夏季移動消防学校(川南町)

6月13日(日) 夏季移動消防学校(延岡市)

6月21日(月) 第32期救助科入校 7月16日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更が生じることもあります。

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp